

2026年度 第1回 介護・医療連携推進会議 報告書

日 時：2026年7月22日（水） 14：10～14：30

場 所：あっとホームひかわ 食堂

参加者：出雲市健康福祉部高齢者福祉課 様
斐川高齢者あんしん支援センター 様
住民代表 様 様 様 様 様
利用者代表 様
介護事業部部長
介護事業部副部長
定期巡回かざぐるま主任
介護事務

司 会： 書 記：

議事

I. 自己紹介

定期巡回かざぐるま主任、入居者 様自己紹介。
ほかの方々は、ふらみんご推進会議より引き続き参加。

II. 事業活動報告

① 利用状況報告 地域利用者 1月から2名に増えた

利用者数の表を参照。地域利用者が4月より1名から2名へ増えた。

② 事例報告

資料によりA氏について紹介した。

③ 残されている課題について

タブレット活用により申し送り時間が短縮しケアの時間に充てることができているが

変化の多い利用者について家族、ケアマネとの共有には課題が残っている

④ 質の向上にむけて

ICT活用の成果として、インカム、眠りスキャン導入を紹介。スタッフ同士のコミュニケーションが迅速化、利用者様の体調把握に効果が出ている。

居室の環境、ケアの統一を図り、誰でも同じケアが可能になるよう努めている。

⑤ 苦情、アクシデント等

誤薬の報告。今後の対応として、内服介助ルールの再確認を行った。

Ⅲ. 質疑応答

質問) 【住民代表様より】かざぐるまはどこにありますか？

回答) ひかわとさふらの住宅事務所が二拠点となっています。

質問) 【あんしん 様より】地域利用は斐川地域の方ですか？

回答) 斐川地域の方です。

質問) 【出雲市 様より】

3年に1回実施しているケアマネ向けのアンケートでは定期巡回が足りないとの回答が毎回あるが、現在の利用者が2名というのはニーズがない、事業所としてのキャパがないどちらでしょうか？また、地域住民の思いを叶えていくために市に期待することもあれば併せて教えていただきたい。

回答) まず事業所から片道30分圏内が対象範囲内でしかお受けすることができない。

また、定期巡回を入れると介護保険の減額越えとなるケースが多い。そのために、デイ利用の回数制限が必要になったりで利用につながらないこともある。事業としては何かできたらという思いはある。

質問) 【住民代表様より】かざぐるまを利用できる介護度は？

回答) 要介護1～5が対象。要支援の利用が制度上できません。

Ⅳ. その他

(利用者様より)

様 いい具合ですよ。(かざぐるまが様子を見に来て) 安心します。お願いいたします。